

# 埼玉県家庭学習支援プログラム集を活用するに当たって ～9つの留意点～

## 1 プログラム

- (1) 実施時間や参加者の特徴などに応じて、必要なプログラムを適宜アレンジして活用してください。
- (2) プログラムは、このままコピーして活用することもできます。

## 2 手引き

- (1) 各プログラムの次ページに掲載している手引きの回答例は参考です。参加者の意見を尊重しましょう。
- (2) 時間配分の目安を記載しています。講座の所要時間に応じて、アレンジしてください。(「9 時間配分の例」参照)

## 3 資料

- (1) アドバイザーの手持ち資料や参加者への配布資料として活用してください。
- (2) 自作の資料を提供する場合は、必ず出典を示してください。
- (3) 著作権上、新聞記事や書籍等をコピーして配布することはできませんので、注意してください。

## 4 プログラムの対象

主に、小学生の保護者を対象としています。

## 5 講座の約束

講座では、参加者全員が次のことを約束するように促しましょう。

- ① プライバシーに関わる話が出される場合もあることから、講座で聞いた話は口外しないでください。
- ② どの意見も互いに尊重しましょう。
- ③ 話したくないことは、無理に話さなくて構いません。
- ④ グループワークでは、全員が話せるように時間配分に配慮しましょう。
- ⑤ 「時間です」と声が掛かったら、途中でも話し合いを終了しましょう。

## 6 アイスブレイク

- (1) はじめに**アイスブレイク**を取り入れると、参加者の緊張感がほぐれ、グループワークが進行しやすくなります。
- (2) プログラムの内容に沿った**アイスブレイク**を工夫しましょう。

## 7 グループワーク

- (1) 「親の学習」は、**グループワーク形式を中心とした学習**です。グループワークの時間をできるだけ確保して、参加者同士の交流を促すようにしましょう。
- (2) グループの人数は、**4人～6人が適当**です。講座の状況に応じて、人数を調整してください。
- (3) グループワークを行った後は、グループで出された意見を発表するなど、参加者が共有できるよう配慮してください。

## 8 ふりかえり

- (1) 講座の最後に必ず「ふりかえり」の時間を確保し、**参加者自身の気づきや学び**を深めましょう。
- (2) 「今日、話し合った内容を振り返り、**御家庭でできそうなことから挑戦**してみましよう。」などと、**日常生活での実践を意識付け**ましょう。

## 9 時間配分の例

時間配分の例

内 容	所 要 時 間	
	45分間	60分間
自己紹介・アイスブレイク	5分	5分
エピソード ワーク1～3	35分	45分
ふりかえり・まとめ	5分	10分

